

第3章「基礎戦略2」 総合力豊かな人材を育てるまちづくり

子どもを健やかに育てるための生活環境や、子育てを支援する雇用環境の充実などを図りながら、子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりに努めるとともに、「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成を目指し、学び考える力、豊かな心、健やかな体を育み、社会人として必要な総合的な力を身に付ける教育の充実を図ります。

また、市民の芸術文化活動へのニーズに応える取り組みを進めるとともに、市民がスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。

【指標の状況】

指標名	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H28)	実績値(H28)	達成率
第1節 子育て支援の充実					
子育て支援に関する満足度平均値(ポイント)※1 市民満足度アンケート	↑	2.8	3.1	2.7	87.1%
特別保育事業の実施箇所数(箇所)	↑	25	36	30	83.3%
教育・保育の提供不足量(人)	↑	55	44	0	100.0%
第2節 学校教育の充実					
学習状況が良好な児童の割合・小学校(%)	↑	87.5	88.5	87.0	98.3%
学習状況が良好な生徒の割合・中学校(%)	↑	72.0	74.0	67.7	91.5%
英語の授業がわかる生徒の割合(%)	→	71.7	73.5	64.0	87.1%
中高生海外派遣事業派遣者数(人)※再掲	→	10	10	10	100.0%
第3節 生涯学習の充実					
市民1人あたりの社会教育施設(公民館)利用回数(回)	↑	3.65	3.89	3.52	90.5%
文化施設利用者数(人)	↑	99,700	100,200	99,248	99.0%
市民1人当たりの貸出冊数(冊)	↑	3.6	4.0	3.4	85.0%
第4節 生涯スポーツの振興					
生涯スポーツに関する満足度平均値(ポイント)※2 市民満足度アンケート	↑	3.01	3.05	2.92	95.7%
市民1人当たりの体育施設利用回数(回)	↑	4.85	5.22	4.75	91.0%
三船十段記念館入館者及び道場利用率(%)※3 総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合	↑	25.86	28.33	31.77	112.1%
第5節 男女共同参画社会の推進					
男女共同参画に係る出前講座(回)	↑	4	5	4	80.0%
審議会等における女性委員登用率(%)	↑	35.9	36.0	35.6	98.9%
男女共同参画サポーター認定者数(人)※累計	↑	32	36	35	97.2%

※1 「子育て支援に関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。

※2 「生涯スポーツに関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。

※3 総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合

【総合評価】

女性の社会進出や就労形態の多様化に伴い、保護者の視点に立った環境整備に取り組むため、平成28年度において民間保育所の増設・新設に対する支援、学童保育所2施設の整備を行いました。また、延長保育、一時保育、病児・病後児保育といった特別保育事業や障害児保育事業実施の働きかけを今後も行い、地域のニーズに対応した各種の子育て支援事業の充実を図り、市民満足度の向上に努めてまいります。

学習環境の取組みとして、総合的な学習の時間では、地域や企業の方々からの協力をいただきながら活動を行ったほか、地産地消の食育指導、市内小中学校での各種発表会の開催、山形地区での集合学習及び「学びのサポート学習塾」等を長期休業中に開催し、児童生徒の活動の幅や視野を広げるため事業を実施しております。

CRT（検査教研式目標基準準拠標準学力検査）の結果による学習状況が良好な児童生徒の割合は、小学生が87.0%、中学生では67.7%となりました。数学と英語担当指導主事の派遣、外国語指導助手（ALT）による英語教育の充実、中高生海外派遣事業などにより両教科の教育の充実を図るとともに、各校が立案し実施している「確かな学び豊かな学び実現プラン」の進捗状況の把握と指導に努めてまいります。

市民の生涯学習やスポーツにおいては、子どもから高齢者まで各年代のニーズに応じた講座や事業を実施し、市内9公民館で1,465回の学習機会を提供し、41,842人の参加がありました。年間の利用者数は、126,479人であり、市民一人あたり3.52回の利用がありました。台風10号による休館等もあり、教育・文化施設等の目標値は下回ったものの、市民や団体等が気軽に利用できるよう、多種多様な学習機会の提供・文化事業の実施に努めるとともに、公民館が市民センターへ移行することに伴い、新たに地域づくり活動の場となることから、利用者の創意工夫により、利用がさらに拡大されるよう取り組みます。

生涯スポーツでは、昨年11月に第1回久慈あまちゃんマラソン大会を開催し、1,055人が参加しました。体育施設の有効利用については、三船十段杯争奪柔道大会等のイベント開催などに合わせた特別企画展の開催等、スポーツの楽しさやおもしろさを感じることができるような競技会、イベントや事業を様々な角度から検討し、ライフステージに合わせ、身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めてまいります。

男女共同参画に対する理解は徐々に深まっておりますが、職場、学校、地域、家庭等あらゆる分野で長年形成されてきた固定的性別役割分担や社会慣行は依然として残っているのが現状です。共同参画社会の実現に取り組むため、気軽に参加できる講座やイベント等を企画し、市民の学習機会を提供するとともに、関係機関との連携を強化し、施策の推進を図ります。

第3章 基礎戦略2

総合力豊かな人材を育てるまちづくり

第1節 子育て支援の充実

【平成28年度の取組】

①子育て環境の充実

・子育て支援センター事業の実施

子育て支援センターにおいて各種の相談指導や子育て支援事業を実施し、児童5,925人、保護者等5,170人の計11,095人の参加がありました。また、子育て支援情報パンフレットを作成し周知しました。

・児童手当の支給

家庭等の生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資するため、児童手当を支給しました。

受給者数 2,257人、支給額 518,765千円

・児童扶養手当の支給

母子又は父子世帯の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進のため、児童扶養手当を支給しました。

受給者数 464人、支給額 213,187千円

②幼児期の教育・保育環境の充実

・保育サービスの充実

保護者が安心して働くことができるよう、保育所は公立2施設、民間16施設、認定こども園は1施設、へき地保育所は4施設、児童館は2施設で保育サービスの充実に努めました。

また、保育所入所児童の保護者の負担軽減を図るため、国で定められている徴収基準による利用料と比べて148,451千円を軽減しました。

・特別保育事業等の実施

多様な保育ニーズに応えるため、延長保育、一時保育、病児・病後児保育といった特別保育事業や障害児保育事業を実施しました。

・放課後児童健全育成事業

小学校児童を対象に保育を行う学童保育所の運営を支援することにより、児童の健全育成を推進しました。

③保育施設等の整備

・民間保育所施設整備事業費補助金

民間保育所等の施設整備に対し補助金を交付しました。このことにより、1施設が増設、1施設が新設され、教育・保育の提供体制の充実が図られました。

④子育て支援施設の充実

・早期療育事業の実施

障害のある児童に対し、通園の方法による健やかな成長を図るため、児童11人を対象に「モウモウルーム」事業を実施しました。

・つどいの広場事業の実施

子育て家庭地域支援を目的とし、しあわせSUN「つどいの広場」を継続実施しました。

・子育て支援センター事業の実施（再掲）

子育て支援センターにおいて各種の相談指導や子育て支援事業を実施し、児

童5,925人、保護者等5,170人の計11,095人の参加がありました。また、子育て支援情報パンフレットを作成し周知しました。

【施策の評価】

①子育て環境の充実

市民満足度アンケートにおける子育て支援に関する満足度平均値は、前年比マイナス0.1ポイント、目標を0.4ポイント下回っていますが、子育て支援センターの利用者数は11,095人（H27：8,958人、23.9%増）となっており、当市の就学前の児童数が平成27年度末の1,627人から1,577人と減少したにもかかわらず、最近減少傾向を見せていた利用者数は平成28年度に増加に転じました。

今後とも、子育て支援情報パンフレットの配架のほか各種の媒体を通じた情報の発信に努めるとともに、保育園、子育て支援センター等の施設の充実のほか各種の子育て支援事業の充実を図り、市民満足度の向上に努めてまいります。

②幼児期の教育・保育環境の充実

特別保育事業の実施箇所数は30箇所まで増加しましたが、目標は達成できていない状況にあります。平成29年度より新たに運営を開始予定の施設があることから、当該施設と連携を密にとりながら、既存の施設にも特別保育事業の実施について働きかけを行い、目標の達成に向けて努力をしてまいります。

③保育施設等の整備

平成28年度に民間保育所等の施設整備に対して支援を行い、施設の増設や新設が行われました。今後とも、必要とされる保育の量を適切に把握しながら提供量の確保に努めてまいります。

④子育て支援施設の充実

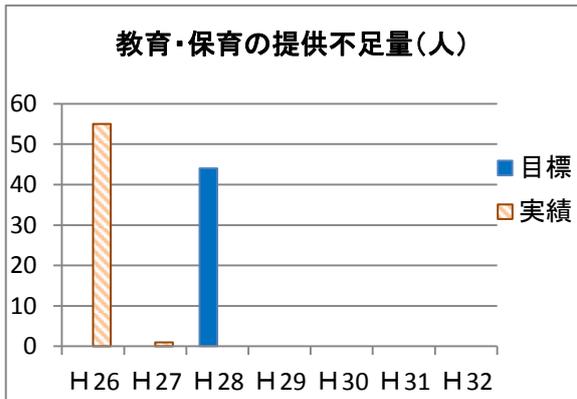
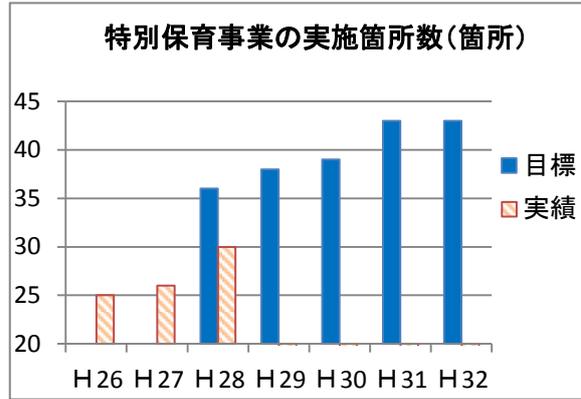
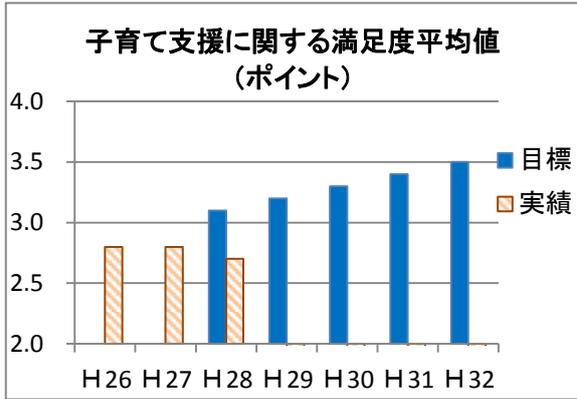
平成28年度において学童保育所2施設の整備を行いました。今後とも地域のニーズの把握に努め対応してまいります。また、つどいの広場や子育て支援センター等を拠点とした各種の子育て支援事業の充実を努め、市民満足度の向上に努めてまいります。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	(H26)							
子育て支援に関する満足度平均値（ポイント） ※1 市民満足度アンケート	2.8	目標		3.1	3.2	3.3	3.4	3.5
		実績	2.8	2.7	—	—	—	—
		達成率		87.1%	—	—	—	—
特別保育事業の実施箇所数（箇所）	25	目標		36	38	39	43	43
		実績	26	30	—	—	—	—
		達成率		83.3%	—	—	—	—
教育・保育の提供不足量（人）※2	55	目標		44	0	0	0	0
		実績	1	0	—	—	—	—
		達成率		100.0%	—	—	—	—

※1 「子育て支援に関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。

※2 「教育・保育の提供不足量」のH26の欄の数値は「久慈市 子ども・子育て支援事業計画」のH27見込みの数値を使用



第3章 基礎戦略2 総合力豊かな人材を育てるまちづくり 第2節 学校教育の充実

【平成28年度の取組】

①生きる力の育成

「総合的な学習の時間」では児童生徒の「生きる力」をはぐくむことを目的に多様な体験活動を主とした学習を展開しました。小学校では農作物の栽培、そば打ち、工場見学、職場訪問などを、中学校では宿泊研修が主な活動となりました。

市内の小中学校の児童生徒が一堂に会した音楽発表会では、小学校の部は480名（午前204名、午後276名）、中学校の部は588名が参加し、日ごろの活動の成果を発表し合いました。

また、山形地区では社会性を豊かにはぐくむことができるよう、集合学習を年間7回開催しました。

そのほか、一般市民や高校生を講師とした「学びのサポート学習塾」の開設を行いました。

②国際理解教育の充実

外国語指導助手（ALT）を3名雇用し、市内小中学校で英語指導及び外国語活動補助を行いました。中高生海外派遣事業では、10名の中高生をアメリカへ派遣しました。滞在期間の半分以上をホームステイとし、現地の家族との交流を深めました。

③特別支援教育の充実

特別に支援が必要な児童・生徒がいる学校等に対して、当該児童・生徒へのきめ細かな指導を実現するとともに、学校生活を充実させるためにくじかがやきプラン特別教育支援員を市内20校に23名配置しました。

④情報教育の充実

児童生徒が使用できるパソコン591台、教員が使用するパソコン409台、電子黒板及び無線LANの環境整備により、デジタル教科書などのソフトウェアを使用した情報教育の推進と校務の効率化を図りました。

また、希望する小学校（1校）に新たに体育館でインターネットを利用できるよう無線LANアクセスポイントの増設を行いました。

教員のICT活用指導能力向上のため、ICT活用事例等の情報提供を行うとともに、情報モラル教育の充実を図るために生徒指導研修会等の講義を行い、久慈市内小中学校教員23名が参加しました。

⑤学習環境の充実

・遠距離通学支援事業

小中学校の統廃合により、遠距離通学となった児童生徒に対し、スクールバス1路線及びタクシー11路線の委託運行に加え、山根・滝方面及び山形地区（5方面）ではスクールバスを直営で運行しました。

また、市民バスを利用する児童生徒に対しても乗車券を交付し、安全な通学手段を確保しました。

・就学援助事業

新たな取組として、新入学生徒76人に対し学用品費として1,789千円を入学前

となる2月に支給するなど、経済的な理由によって就学困難な児童403人、生徒223人の家庭に対し、就学援助費52,980千円を支給しました。

また、東日本大震災により被災した児童13人及び生徒11人の家庭に対し、就学援助費2,105千円を、特別支援学級就学児童22人及び生徒10人の家庭に対し、就学援助費940千円を、経済状況により支給しました。

⑥学校施設の充実

・維持補修

改修工事3件（長内小学校、大川目中学校の受変電設備の改修と三崎中学校のオイルタンク改修）、小修繕240件を実施し、学校施設環境の充実に努めました。

・トイレの水洗化

宇部中学校の水洗化を実施しました。

・トイレの洋式化

長内小学校の洋式トイレの数を増やしました。

・多目的トイレの設置

大川目中学校へ車いすでも利用できるトイレを設置しました。

・環境改善

久慈小学校へ防砂ネットを設置しました。

⑦学校給食の充実

・学校給食を通じた児童・生徒の心身の健やかな成長

児童生徒・教職員等約3,300人余りに対し、年間175日にわたって安全安心な給食を提供しました。

・地産地消及び食育の推進

主食のお米は久慈市産米を100%、牛乳については「おおのゆめ牛乳」により久慈地域産100%を使用し、その他海産物・野菜類等、地域の特産物についても、食材の旬や生産時期に応じて地場産品の活用を努めました。

また、栄養教諭による食育授業を小・中学校あわせて111回実施したほか、当市の特産食材を活用し生産者を交えての「地産地消ふれあい給食の日」を、11月から2月にかけて計6回7小学校で実施し、農林水産業への理解を高める機会を設けるなど、食育を推進しました。

【施策の評価】

①生きる力の育成

総合的な学習の時間では地域や企業の方々からの協力をいただきながら活動を行いました。今後も児童生徒の活動の幅や視野を広げるため事業を継続していきます。

市内小中学校音楽発表会は日頃の音楽活動の成果を発表し合い、他校の発表の鑑賞をとおして豊かな表現力や音楽性を高める機会となりました。小学校の部では特別演奏として中学生の合唱を鑑賞し、お互いにより刺激になったと捉えています。

山形地区の集合学習では、中学校で一緒に学ぶことになる児童が月に一回程度集まり、協力して活動を行うことにより、進学後の学級活動の順調なスタートにつながっています。

長期休業中に開催した「学びのサポート学習塾」では、苦手教科の克服や自らより深く学ぼうとする姿が見られ、学力向上の一助となっています。

CRT（検査教研式目標基準準拠標準学力検査）の結果によると学習状況が良好な児童生徒の割合は小学生が87.0%、中学生では67.7%となりました。数学と英語担当指導主事の派遣により、両教科の教育の充実を図るとともに、各校が立案し実施している「確かな学び豊かな学び実現プラン」の進捗状況の把握と指導に努めてまいります。

②国際理解教育の充実

外国語指導助手（ALT）の派遣により、小学校外国語活動や中学校英語教育の充実が図られています。岩手県学習定着度状況調査の結果によると英語の授業がわかる生徒の割合が平成27年度は53.0%、平成28年度は64.0%と目標値を下回っていますが、今後さらに英語教育の充実を図り、目標達成に向けて努力してまいります。

また、中高生海外派遣事業は派遣生徒自身の成長はもちろんですが、自らの経験を発信することで周囲へ良い効果が得られていることから今後も継続していきます。

③特別支援教育の充実

就学支援コーディネーターを中心とした就学前の支援及び就学後のくじかがやきプラン特別支援教育支援員の配置により、児童・生徒への目の行き届いた支援・指導が可能となっており、今後も継続してまいります。

④情報教育の充実

研修会の開催や各種会議等により各校の情報教育に関する意識は高まってきています。さらに、各校では専門の企業等に情報モラルに関わる講師依頼を行い、児童生徒と教員、保護者を含めた研修を行っています。ICT機器の充実など環境整備を推進しながら、引き続き情報教育を積極的に進めていきます。

⑤学習環境の充実

・遠距離通学支援事業

児童生徒数の減少に伴って送迎人数は減少傾向にありますが、引き続き各地区及び学校の状況に応じた通学支援を推進してまいります。

・就学援助事業

経済的な理由によって就学困難な児童生徒数を前年度と比較すると106人の減少であり、支給金額では7,208千円減少しました。また、東日本大震災被災分の児童生徒数は、8人の減少であり、金額では543千円減少しました。

特別支援についても、前年度と比較すると3人の減少、金額では31千円の減少となり、就学援助支給対象者は全体的に減少傾向にあります。

今後は、新入学児童学用品費の入学前支給についても検討を進め、援助事業の充実を図ります。

⑥学校施設の充実

地震対策については、平成26年度に耐震化率100%を達成し、平成27年度には7校の天井落下防止対策を実施しました。

トイレの水洗化については、平成28年度に宇部中学校の工事を実施したことにより、市内全23校中22校の水洗化がなされ、水洗化率は95.7%となっています。

今後も、学校施設の適正な保守管理を図りながら、施設改修等、計画的な整備を進めてまいります。

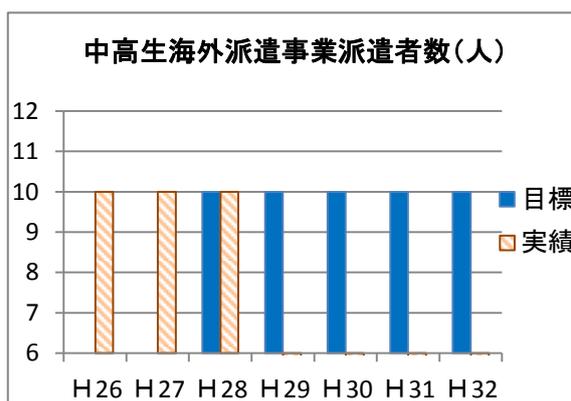
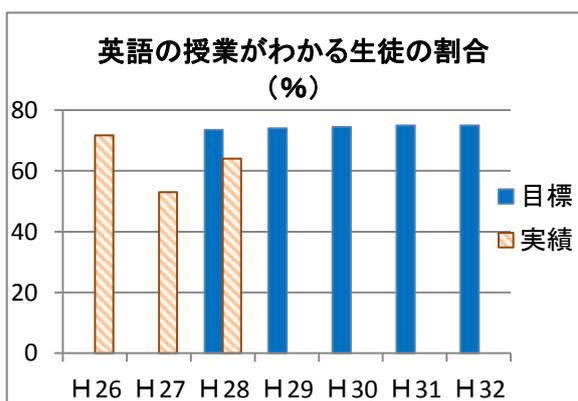
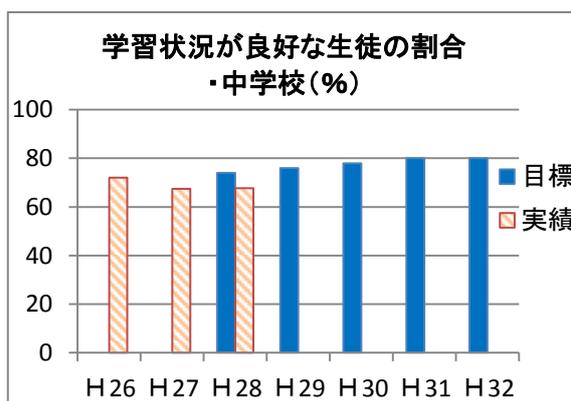
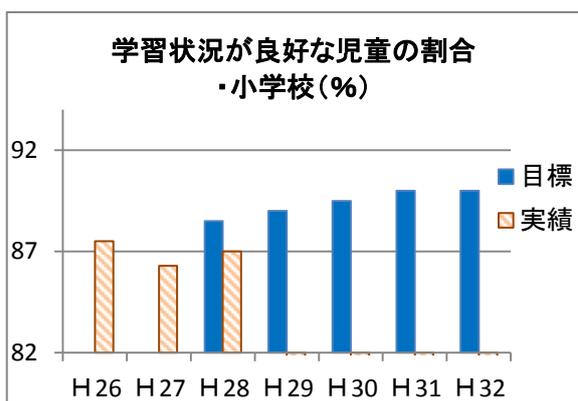
⑦学校給食の充実

地産地消は、食育指導をするにあたり、地域の食文化や産業についての関心や理解を深め、食に関わる人々や食物への感謝の気持ちを育ませるなど、教育的意義が高いことから、引き続き推進してまいります。

また、毎年3割程度で推移している地域産食材の購入割合を高めるため、郷土料理や和食を活用した給食を推進するなど、地場産品の更なる利用を図ってまいります。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
学習状況が良好な児童の割合・小学校（％）	87.5	目標	87.5	88.5	89.0	89.5	90.0	90.0
		実績	86.3	87.0	—	—	—	—
		達成率	98.3%	98.3%	—	—	—	—
学習状況が良好な生徒の割合・中学校（％）	72.0	目標	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0	80.0
		実績	67.4	67.7	—	—	—	—
		達成率	93.6%	91.5%	—	—	—	—
英語の授業がわかる生徒の割合（％）	71.7	目標	71.7	73.5	74.0	74.5	75.0	75.0
		実績	53.0	64.0	—	—	—	—
		達成率	74.1%	87.1%	—	—	—	—
中高生海外派遣事業派遣者数（人）※再掲	10	目標	10	10	10	10	10	10
		実績	10	10	—	—	—	—
		達成率	100.0%	100.0%	—	—	—	—



第3章 基礎戦略2

総合力豊かな人材を育てるまちづくり

第3節 生涯学習の充実

【平成28年度の取組】

①生涯学習の充実

学校・家庭・地域が連携し、地域全体で子どもを育む環境を充実するため、学校・家庭・地域の連携協力推進事業を実施しました。家庭教育の支援では、乳幼児期から思春期までの子どもとその保護者を対象に、子育て支援センターや小・中学校、各公民館を会場に52回の学習機会を提供しました。また、各公民館において、子どもから高齢者まで各年代のニーズに応じた様々な講座や事業を展開し市内9公民館において1,465回の学習機会を提供し、41,842人の参加がありました。参加者が昨年度から6.0%減少していますが、台風10号の影響による事業の中止等が主な要因と考えられます。

公民館を市民の生涯学習の場と併せて、地域のコミュニティ活動の拠点とするため、公民館を市民センターへの移行に取り組み、平成29年度より市内の9館の公民館を市民センターへ移行します。

②文化施設の連携と芸術文化活動の充実

芸術・文化創造活動の推進のため、「音楽の贈り物vol.3～ジャズとクラシックの共存～」などの21事業を実施し参加者は12,114人でした。前年度と比較し、4事業、3,255人、36.7%の増となっていますが、これは事業数の増加及び満席に近い事業が多かったことによるものです。

また、育成事業としては、「吹奏楽クリニック」等6事業を実施し、参加者は4,300人でした。前年度と比較し、695人、19.3%の増となっております。これは、岩手大学合唱団の演奏旅行が減少したものの、吹奏楽祭を実施し、またオペラ合唱指導会を実施したことにより増えたものです。

さらに復興支援事業は、東日本大震災の復興支援のほか、8月30日の台風被害により決定した事業もあり、多くの方に多種多様な文化・芸術を提供しました。

③図書館機能の充実

・学習機会の提供

将来に渡って、市民の学ぶ機会をつくるため、郷土資料の保存を含めた図書資料を整備し、多くの企画展示会（2館で43テーマ）を開催しました。

また、図書館への理解を深めていただくため、積極的に見学や職場体験等（20回）を受入れるとともに、読書ボランティアの活動支援のため読み聞かせ実践講座（3回）を開催しました。

・読書推進活動の促進

将来を担う子どもたちの健やかな成長を促すため、乳幼児へのブックスタート（毎月）を行い、親子のコミュニケーションの大切さを伝えるとともに、読み聞かせ会や映画会（毎月2回）を実施し、早期に読書に触れる楽しさを伝える事業を行いました。また、『読書通帳』事業を開始し、子どもたち一人ひとりの健やかな成長を支援する取り組みを推進しました。

・新図書館建設の推進

学習機能の強化と誰にも親しまれる施設を目指し、基本計画策定に向け研究を行いました。

④地域の歴史と文化の継承と発信

旧長内中学校跡を活用し運営している久慈市歴史民俗資料室は、予約制による一般公開を実施しており、平成28年度は321人が来場しました。来場者数は前年度比129人減、28.7%の減でしたが、一部の小学校においては、資料室の見学に代えて古民具等の体験授業を実施、地域の歴史に触れる機会を設けました。

また、久慈市民芸術文化祭を開催し、11月の合同発表では展示・舞台・茶道の各部門を実施、3日間で計3,165人が来場、地域の文化活動の成果発表の場として多くの方に見ていただくことができました。

さらに、平成28年度は「久慈市郷土芸能祭兼北緯40° ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭」を開催、市内外の郷土芸能保存団体11団体が出演、795名の来場者があり、地域の伝統芸能を承継することの大切さを知ることができる、貴重な機会となりました。

【施策の評価】

①生涯学習の充実

社会教育施設（公民館）の利用者は、126,479人であり、市民一人あたり3.52回の利用がありました。目標値は下回ったものの、今後においても、市民や団体等が気軽に利用できるよう、多種多様な学習機会の提供に努めるとともに、公民館が市民センターへ移行することに伴い、新たに、地域づくり活動の場となることから、利用者の創意工夫により利用がさらに拡大されるよう取り組みます。

②文化施設の連携と芸術文化活動の充実

文化施設利用者数は99,248人で目標値100,200人には届きませんでした。公演内容等により増減があることから、市民のニーズを把握し、多くの市民が利用できる事業実施に努めてまいります。

③図書館機能の充実

・学習機会の提供

年間を通して計画通り企画展示を行い、多くの資料紹介することができました。しかし、来館者数は昨年度の54,349人から約5千人減（9%）、貸出冊数も127,674冊から約9千冊減（7%）となっており、目標としていた一人当たりの貸出冊数4.0冊に対し、3.4冊となっております。これは、台風10号の影響による休館や移動図書館車の運休などにより、利用者が減少したことによるものと考えられます。

今後は、新図書館建設への理解を含め、利用者のニーズに応じた資料の収集・展示をはじめ、各種教室や図書館の見学会等を開催して、利用率の向上に努めます。

・読書推進活動の促進

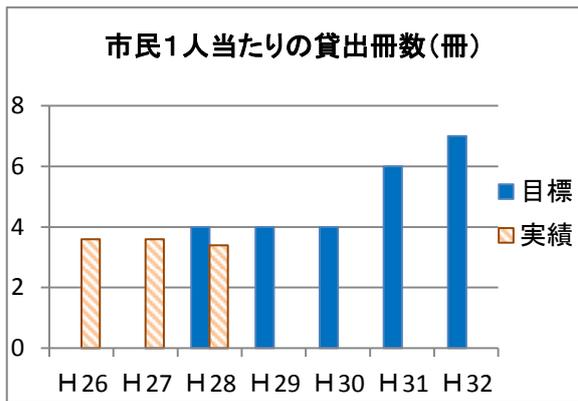
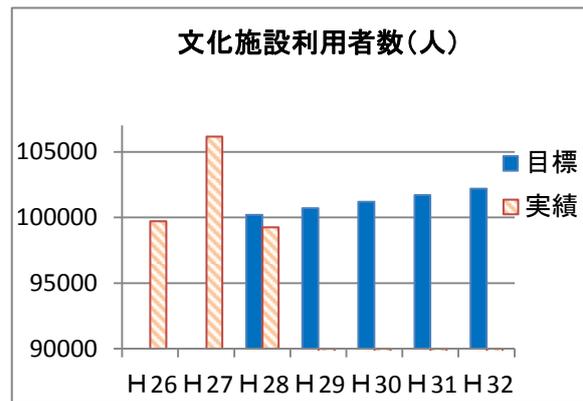
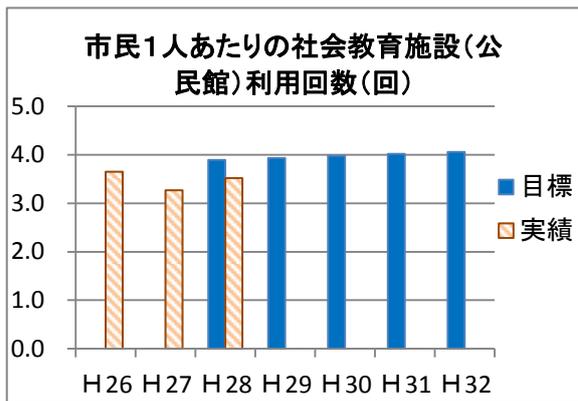
乳幼児や青少年の読書活動推進については、少子化の進展とともに参加者数は年々減少している状況ですが、ボランティアの育成に努め、より丁寧な読書支援を行うことで利用者の満足度の向上に努めます。

④地域の歴史と文化の継承と発信

歴史民俗資料室は、製鉄関連資料や郷土の偉人の資料、住民から寄贈された古民具など、収蔵資料は点数、内容とも充実しています。市内外の一般の来場者のほか、学校の見学等による利用も多く、学習の場として活用されています。資料の保存と施設の適切な管理・運営を継続しつつ、将来の移転に向け、より一層の内容の充実を図るため検討を重ねてまいります。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市民1人あたりの社会教育施設（公民館）利用回数（回）	3.65	目標		3.89	3.93	3.98	4.02	4.06
		実績	3.27	3.52	—	—	—	—
		達成率		90.5%	—	—	—	—
文化施設利用者数（人）	99,700	目標		100,200	100,700	101,200	101,700	102,200
		実績	106,168	99,248	—	—	—	—
		達成率		99.0%	—	—	—	—
市民1人当たりの貸出冊数（冊）	3.6	目標		4.0	4.0	4.0	6.0	7.0
		実績	3.6	3.4	—	—	—	—
		達成率		85.0%	—	—	—	—



第3章 基礎戦略2

総合力豊かな人材を育てるまちづくり

第4節 生涯スポーツの振興

【平成28年度の実績】

①生涯スポーツの充実

- ・ 各種スポーツ大会、スポーツ教室などのスポーツ活動の機会を提供しました。
 - ▶ 各種スポーツ大会は、ソフトバレーボール大会など2大会
(参加者数176人、前年比475人減)
 - ▶ 各種スポーツ教室は、おとどけスポーツ教室など55回開催
(参加者数1,151人、前年比172増)
- ・ 各競技団体等に補助金を交付し、スポーツ人口の拡大や選手の発掘、指導者の養成等を図りました。
 - ▶ 社会体育団体育成補助金
 - ▶ スポーツ少年団育成補助金
 - ▶ スポーツ振興事業費補助金
- ・ 市体育協会、関係団体と連携を強化し、誰もが参加できる安全で魅力ある大会運営に努めました。
 - ▶ 久慈市民体育大会 (参加者2,547人、前年比48人減)
 - ▶ 第21回もぐらんぴあ駅伝競走大会 (参加者451人、前年比88人減)
 - ▶ 第1回久慈あまちゃんマラソン大会 (参加者1,055人)

②体育施設の有効利用

各種大会の開催（共催、後援事業）83回、県大会以上の大会を3回開催しました。利用者数は、希望郷いわて国体の開催地、台風10号の影響などにより、減となりました。（延べ173,010人、前年比24,153人減）

③柔道のまちづくりの推進

- ・ 第71回希望郷いわて国体柔道競技の開催をはじめ、各種柔道大会等を開催し、柔道の普及発展と競技力向上を図りました。
- ・ 三船十段記念館の資料展示については、市民体育館等のイベントに合わせて、特別移動展示を行う等「柔道のまち」の情報発信に努めました。
- ・ 三船十段記念館入館者数 1,467人

【施策の評価】

①生涯スポーツの充実

指標である生涯スポーツに関する満足度平均値（市民満足度アンケート）の結果は昨年度に比べ0.9ポイント減少していますが、これは、希望郷いわて国体開催により、通常国体期間前後に開催されていたスポーツイベントが日程調整が難しいため中止になったことが考えられます。反面、ポイントには反映され

ていませんが、新たなスポーツイベント、第1回久慈あまちゃんマラソン大会が開催されました。今後、大会規模を大きくし、県内外に誇れる大会に成長させることができれば、市民満足度も高まるものと考えられ、引き続き、努力を続けてまいります。

②体育施設の有効利用

市民1人当たりの体育施設利用回数は、平成27年度に比べ減少しましたが、トレーニングルーム（市民体育館）などをはじめ、利用者数が増加傾向で推移している施設もあることから、スポーツの楽しさやおもしろさを感じることができるような競技会、イベントや事業を様々な角度から検討し、ライフステージに合わせ、身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに努めてまいります。

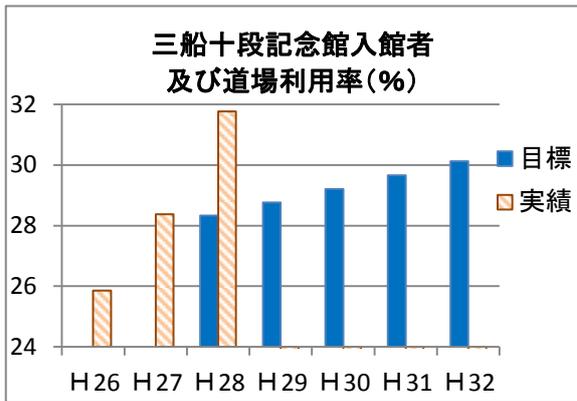
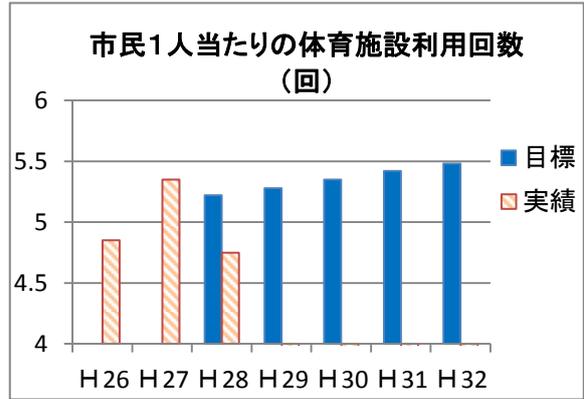
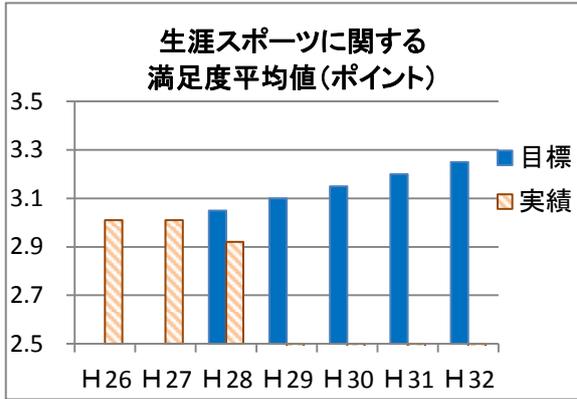
③柔道のまちづくりの推進

指標である、三船十段記念館入館者及び道場利用率は昨年度に比べ3.4ポイント増加しており、これは三船十段誕生祭及び希望郷いわて国体の開催により、多くの関係者が施設を訪れております。昨年度は台風10号の被災により、止むを得ず、三船十段杯争奪柔道大会の開催を断念しましたが、平成29年度は盛大に開催し、また柔道大会等のイベントなどに合わせ、特別企画展等を定期的で開催し、市内外に「柔道のまち 久慈」を情報発信します。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
生涯スポーツに関する満足度平均値（ポイント） ※市民満足度アンケート	3.01	目標		3.05	3.10	3.15	3.20	3.25
		実績	3.01	2.92	—	—	—	—
		達成率		95.7%	—	—	—	—
市民1人当たりの体育施設利用回数（回）	4.85	目標		5.22	5.28	5.35	5.42	5.48
		実績	5.35	4.75	—	—	—	—
		達成率		91.0%	—	—	—	—
三船十段記念館入館者及び道場利用率（%） ※総人口に占める入館者及び道場利用者数の割合	25.86	目標		28.33	28.76	29.21	29.66	30.12
		実績	28.37	31.77	—	—	—	—
		達成率		112.1%	—	—	—	—

※「生涯スポーツに関する満足度平均値」のH26の欄の数値はH27の数値を使用。



第3章 基礎戦略2

総合力豊かな人材を育てるまちづくり

第5節 男女共同参画社会の推進

【平成28年度の取組】

①市民の意識の醸成

男女共同参画社会を推進するため、市民や企業など、社会を構成するあらゆる人々が、性別にとらわれない生き方や社会への参画の必要性についての認識を持ち、理解を深めるための広報や啓発活動を実施しました。

- ・平成28年度さわやか男女共同参画のつどい…イクボスに関する講演（講師：横田智史氏）、ワークライフバランスに関するパネルディスカッション（出演：豊巻直子氏、田原美晴氏、成田敦子氏）、市長によるイクボス宣言、関連図書展示、川柳展示を実施しました。（中央公民館／参加者51名）
- ・男女共同参画出前講座…学校講演会（講師：安田玲美氏／久慈高校／192名）、防災女性力アップ講座（講師：三宅諭氏／中央公民館／11名）、笑顔のパパの働き方改革講座（講師：後藤大平氏／車庫棟／27名）、市長と女性職員の座談会（車庫棟／9名）
- ・DV防止講座…デートDV防止講座（久慈高校長内校／65名）
- ・情報誌の発行…「パートナーしっふ」を全戸配布（年2回）

②審議会委員等への積極的な登用

男女双方の意見を市政に反映するため、委員の改選時期に各課等に呼びかけて、各種審議会や委員会等への女性委員の登用を促しました。

③女性リーダーの養成

男女共同参画の視点に立った行動ができる人材・リーダーの育成を図るため、市民有志をいわて男女共同参画サポーター養成講座に派遣しています。

【施策の評価】

①市民の意識の醸成

男女共同参画に対する理解は徐々に深まっておりますが、職場、学校、地域、家庭等あらゆる分野で長年形成されてきた固定的性別役割分担や社会慣行は依然として残っているのが現状です。男女共同参画社会を実現するためには継続的な取り組みが必要であり、平成26年3月には「第2次久慈市男女共同参画計画」を、平成28年3月には「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」を策定しました。

また、男女共同参画に係る出前講座の実施回数は4回で、目標を1回下回りました。要因は、開催を予定していた「男の料理コンテスト」が応募者なしのため中止となったことと考えられますが、今後はより気軽に参加できる講座やイベント等を企画し、市民の学習機会を提供するとともに、関係機関との連携を強化し、施策の推進を図ります。

②審議会委員等への積極的な登用

登用率は増加傾向にありますが、目標には0.4ポイント足りない状況です。引き続き、庁内において女性委員の登用を呼び掛けてまいります。

③女性リーダーの養成

男女共同参画サポーター認定者数は35名であり、目標を1名下回りました。平成28年度の受講者がなかったことから、今後は養成講座の周知方法を工夫し、幅広い視野と自覚を持ったリーダーの育成に努めます。

【指標の状況（詳細）】

指標（単位）	基準値 (H26)	区分	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	男女共同参画に係る出前講座（回）		4	目標 2	5	4	—	5
			実績 2	—	80.0%	—	—	—
達成率								
審議会等における女性委員登用率（%）	35.9	目標 36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	—	—
			実績 35.6	—	—	—	—	—
達成率								
男女共同参画サポーター認定者数（人）※累計	32	目標 36	37	38	39	40	—	—
			実績 35	—	—	—	—	—
達成率								

